

第31号
平成19年
4月13日

すまいるたん

汐入



発行元
東京新聞
南千住専売所
TEL3803-1781
発行責任者
鬼塚 佳代子
TEL090-2657-0300

魂が叫ぶ!! 芸術祭大賞受賞 甲斐京子の世界

「3歳から、ひばりさんにあこがれてました。」

小学校の時から、友人達を観客に階段の踊場で美空ひばりさんの歌を歌い踊っていた甲斐京子さんはSKD（松竹歌劇団）の最後の男役トップスター。

浅草国際劇場でSKDを見て、自分の進む道はここだと高校を中退し、松竹歌劇団舞踊学校に24期生として合格しました。授業の音楽・ジャズ・三味線・日本舞踊・ダンス・ピアノなどゼロからの出発の甲斐さんは追いつくのが本当に大変でした。

「必死でした。でも何もかも楽しかった。」

人一倍努力して成績が上がって行きました。その結果、1年で浅草国際劇場の「東京踊り」にて新人賞を、翌年には後援会賞を受賞しました。以後は、男役一筋でインドネシア国立民族舞踊学校留学した後も数々の賞を受賞しました。87年にはトップになり、国内をはじめ、アメリカ・ロサンゼルスにて主演公演、ヨル

ダン、外務省文化使節団としてインド・ドイツ・ポーランド・ソ連の各地で主演公演もしました。SKDで歌と踊りで26年男役で活躍後はフリーとなり、主に芝居をする中で女の表現ができるように努力をし、ディナーショー・ミュージカル・TV出演・日本舞踊などや舞台公演と活躍の場を広げて研鑽を重ねてきました。

その努力が実を結び、ダンス・ソング・ドラマ4「甲斐京子の夢劇場 in SAKUSA」（東洋館）で平成17年度芸術祭大賞を受賞しました。

「大賞受賞は、運が良かっただけ」と謙虚に語る甲斐さんは、常に自分の芸に満足していませんが、一昨年の舞台生活35周年に寄せて榊松竹の永山会長は「マルチスター甲斐京子」と祝辞を述べ、演出・振付の竹邑類さんは「生きる事は演じ続ける事！甲斐京子さんを見ているとそんな感じがします。」菊村禮さんは「甲斐さんという宝石。」と賛辞の声は止みません。

今年の舞台では、1月の三越劇場での松竹特別公演「華岡青洲の妻」に続き、5月も「怪談 牡丹燈籠」を池内淳子さんとご一緒にします。

「来て下さったお客様の100人に1

人でも感動していただけたらいいのです。魂が叫ぶ舞台にしたいのです。」

そんな気持ち秘め、4月14日午後5時15分開場、5時45分開演でコンサートを素蓋雄神社参集殿2階で開催致します。

私の回転木馬・遠くへ行きたい・ジャニーギター・愛燦々等）を心を込めて歌います。大きなコンサート会場と違いライブハウスのような臨場感を味わえると思います。ぜひ、明日いらつしやいませんか？

「地元の方に聞いていただきたい。」お申し込みいただいた先着30名の方には地元特別ご優待席がございます。

甲斐さんにお会いした時にスターの輝きがありながら、前向きな芸へのひたむきさ、お人柄の良さにファンになりました。

甲斐京子コンサート
日時：4月14日午後5時15分開場
午後5時45分開演
場所：素蓋雄神社参集殿2階
お問合せ：甲斐京子後援会
電話 3895-3166
FAX 3819-4010
携帯：090(2657)0300

